

京都府舞鶴市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2022年～2024年

(1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2023年	2024年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	万願寺甘とうの出荷額[2, 2.3, 2.4]	2021年3月 17,700 万円	2022年 16,934 万円			2030年 30,000 万円	-6%
2	京都舞鶴港におけるクルーズ客船来航数[9, 9.4]	2021年3月 0 回	2022年 5 回			2030年 100 回	5%
3	就労移行支援やA型、B型から一般就労への移行者数[1, 1.2, 4, 4.4, 4.5, 公共施設における再生可能エネルギー比率[7, 7.1, 7.2]	2021年3月 6 人/年	2022年 2 人/年			2030年 12 人/年	-67%
4		2021年3月 0.3 %	2022年 1.8 %			2030年 100 %	2%

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2022年～2024年）

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2023年実績	2024年実績	2024年目標値	達成度（%）
1	海・港を生かした産業振興と若者が働く場の確保	京都舞鶴港における年間取扱貨物量	2021年3月 9,371 千トン	2022年 9,683 千トン			2024年 11,583 千トン	14%
2	特色ある一次産業・地域産業・観光産業等のブランド化	万願寺甘とうの出荷額	2021年3月 17,700 万円/年	2022年 16,934 万円/年			2024年 23,000 万円/年	-14%
3	人口構造の変化に対応した都市機能の整備	市内公共交通利用者数	2021年3月 199.9 万人/年	2022年 172.3 万人/年			2024年 202.0 万人/年	-1314%
4	育成と流入の促進による地域を担う人材の確保	コワーキングスペースを通じた都市部からの来訪者数	2021年3月 523 人	2022年 732 人			2024年 1,000 人	44%
5	再生可能エネルギーの活用促進による脱炭素社会の実現	住宅用太陽光発電システムの設置基数（累計）	2021年3月 1,690 基	2022年 1,949 基			2024年 1,800 基	235%
6	ICTを活用した事業効率化により資源が循環する社会の構築	廃プラスチック類の焼却に伴うCO2排出量	2020年3月 6,832 トン	2022年 6,688 トン			2024年 6,505 トン	44%

(3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

<p>上記(1)No.1及び(2)No.2に関連する万願寺甘とう栽培におけるスマート農業の取組については、万願寺甘とうの生産量の安定化・収穫量向上を実現するとともに、伝統野菜を核とした産地づくりを推し進め、担い手の育成・確保等にも繋げることで、持続可能な一次産業の振興を図るため、IoT機器を通じたデータ活用型のスマート万願寺栽培を実装に取り組んでいる。生産量が多い生産者の栽培環境（温度、湿度、土壌水分量など）のデータ収集を行い、今後は収集したデータの分析等を進め、データに基づく栽培方法の確立等に挑戦していく予定である。生産量は悪天候と病害により当初値を下回る一方で、前年（16,810万円）を上回る結果となった。今後は病害アラートの実証実験など新たな取組を推進し、目標達成を目指していく。</p> <p>上記(1)No.3の就労移行支援については、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により実習機会を十分に確保することが困難であった。一般就労への移行を着実に実現していくため、事業者のニーズに合った訓練や実習機会を十分設けるなど、目標達成に向けて取組を推進していく。</p> <p>上記(2)No.3の市内公共交通利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や働き方の多様化により、観光やビジネス等を通じた移動が減少したことによる伸び悩みが大きいと考えられるが、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せる中、利用者数は前年（152.3万人）に比して増加傾向にあるため、利用促進を目的としたイベントの開催など、引き続き目標達成に向けた取組を推進していく。</p>
--